

国語教育相談室

小学校

no.

66

光村図書



特集 **これからの指導** — 移行期に意識すること

わたし
こぼは
思えば出る
吉行和子

おはなし
定期便
へっころ島奇譚
舟崎克彦

教師力
講座
「話し合い活動」は
これでいいの？

書写
こう書いても大丈夫？
許容の形

「飛ぶ教室」の人気連載対談〈あなたが子どもだったころ〉が本になりました。

河合隼雄と七つの個性が織り成す、異色の対談集！

ここに子ども力を育むたくさんのヒントがある。

- 山本容子 (銅版画家) — 一人の考えないことを考えてみせる力
- 鶴見俊輔 (哲学者・評論家) — 創造性を身につける力
- 筒井康隆 (作家・俳優) — 一人を驚かせる力
- 佐渡裕 (指揮者) — 強い思いを蓄え成長する力
- 毛利衛 (宇宙飛行士・理学博士) — 環境をうまく受け入れる力
- 安藤忠雄 (建築家) — 遊びからイメージーションを生み出す力
- 三林京子 (女優) — 体当たりの挑戦を積み重ねる力

子ども力がいっぱい
河合隼雄が聞く「あなたが子どもだったころ」

定価 1,800円 (本体1,714円) ISBN978-4-89528-421-9

光村図書出版株式会社 〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9 TEL.03-3493-2505 FAX.03-3493-5483 E-mail:hansoku@mitsumura-tosho.co.jp http://www.mitsumura-tosho.co.jp

大好評 発売中

光村図書

光村図書 小学校 国語教育相談室 通巻No.126 2009(平成21)年4月23日発行 定価126円(税込)
 発行人=常田 寛 発行所=光村図書出版株式会社 東京都品川区上大崎 2-19-9 〒141-8675 電話 03-3493-2111
 http://www.mitsumura-tosho.co.jp E-mail:koho@mitsumura-tosho.co.jp
 印刷所=村田印刷工業株式会社 デザイン=mintgrafix

個人情報の取り扱いに関しては、弊社「個人情報保護方針」に則り、適切な管理・保護に努めてまいります。くわしくは、光村図書ホームページ「光村チャンネル」をご覧ください。
 http://www.mitsumura-tosho.co.jp 広報誌の配送停止をご希望の方は、光村図書広報部までご連絡ください。

わたしとことば 思えば出る ————— 吉行和子

特集 02 **これからの指導**
— 移行期に意識すること

- インタビュー ————— 興水かおり
- 実践提案① 劇化で生きた言葉を身に付ける ————— 新しい指導を考える会
- 実践提案② 言語活動を通して付ける力 ————— 新しい指導を考える会
- 実践提案③ 作品の背景を考えながら読む ————— 新しい指導を考える会

10 「ありの行列」(三上) をめぐって

教師力講座 6 12 「話し合い活動」はこれでいいの? ————— 安田恭子
話し合い活動とドッジボール ————— 吉永幸司

書写の時間を考えよう4 16 こう書いても大丈夫? ~ 許容の形 ~ ————— 新しい指導を考える会

おはなし定期便 21 ヘッコロ島奇譚 ————— 舟崎克彦



女優 吉行和子

思えば出る

私が劇団というところに入りたかったのは、言葉の力に魅了されたからでした。体が弱く、出席日数もぎりぎりの子ども時代。友達といえは、本の中の人物だけでいく事に驚いたのです。本の中の人達が、生きて動いている、と思ったのです。それがきっかけで俳優になりました。

劇団に入ってから、忘れられない言葉に、「思えば出る」というのがあります。大先輩であり、師である宇野重吉さんが教えて下さった言葉です。

芝居の下手くそな私に、その役について思いなさい、百回も千

回も思いなさい、そうしているうちに、ひとりでも相

手にその気持ち伝わるのです、とおっしゃいました。

いくら上手に演じて、心がなければ伝わらない、と

言うその言葉は、私を勇気づけてくれました。他人より

下手でも、その分沢山の思いを持てば、観客にはその役の気

持ちは伝わりと信じたのです。

こんなに長く俳優という仕事を続けていられるのも、心を大切に演じているからかも知れないと、その言葉を教えて下さった宇野重吉さんに感謝しています。

そして、それは演技の上だけでなく、日常の人とのふれあいでも重要なことだとい

うのを、年を重ねるごとに身にしみ解ってきています。信頼出来る人間との出会い、

それは心がなければ続きません。そうして大切に人につき合っていくけば、自分の人生

も豊かになるのです。口先だけのおつき合いのむなしさを見抜く力がついてきました。

。「思えば出る」この言葉をこれからも守っていきます。



東京都生まれ。女優。劇団民藝を経てフリーに。映画、テレビ、舞台で活躍する一方で、俳人・エッセイストとしても活躍。84年には「どこまで演れば気がすむの」(潮出版社)で、日本エッセイストクラブ賞を受賞。父 エイスケ兄 淳之介はともに作家、妹 理恵は詩人。母 あぐりは日本草分けの美容師である。

これからの

特集 指導

— 移行期に意識すること

今年度から移行期に入り、新しい学習指導要領を意識した指導が求められてきます。本特集では、これからの指導で大切なこと、意識しなければいけないことを考えてみました。研究に取り組まれた青南小学校の

奥水校長先生のインタビューと、現行教材を使った実践をご紹介します。

国語科を通して他教科を学ぶ

東京都港区立青南小学校（港区教育委員会の研究奨励校）では、「全教科で育てる『言葉の力』」というテーマで研究を重ねています。そこで、奥水先生に研究の中で感じられたことを交えて、お話しいただきました。

— 今年度から移行期に入ります。これからの指導で大切なことは何でしょう。

奥水 国語科がすべての教科のベースになる、国語科を通して他教科を学んでいく、ということ、教師がしっかり意識

識することで、子どもは「あつ、そうか。国語科で勉強したことって、こうやって使えるんだ」と思うことができ、国語に対する学習意欲が増すのではないかと思います。

— 今、おっしゃったことを、教科書教材を例に、お話しいただけますか。

奥水 「どうぶつの赤ちゃん」（一下）では、「ライオンの赤ちゃんは、生まれたときは、子ねごうらいの大きさです。」と、赤ちゃんの大きさを、「子ねごうらい」と具体物に置き換えて表現しています。なので、子どもに「子ねごを抱っこするとき、どんな風にする？」と一言で、動作化させる。そうすると、子どもは、実際に子ねごを抱くようなしぐさをして「ライオンの赤ちゃんってこんなに小さいんだ」って実感することができま

することですね。

今までの教科教育というのは、どちらかというと「この単元を教えました」という履修型だった。でも、これからは習得型でないといけないと思うんです。

例えば、「『ごんぎつね』を教えました」と言うけれど、「それで何が身に付いたんですか」と聞かれると、答えに迷うところがあった。習得というのは、身に付いたかどうかが問われるんです。その部分の取り組みが今までは弱かったように思います。

— 国語科を通して他教科を学ぶという

そして生活科で、この「どれぐらいの大きさ」っていうのが使えるんですね。例えば、モルモットの観察で、「モルモットは筆箱ぐらいの大きさです」というふうに。

「『どうぶつの赤ちゃん』を教えるのではなく、『どうぶつの赤ちゃん』で何を教えるか、っていうことですよ。

自分の指導を見直す チャンスととらえる

— 青南小学校で、教室に掲示されている作文を拝見しましたが、先生方が丁寧に指導されているな…と感じました。

奥水 子どもに「たとえば〜」という表現を学ばせたいなら、教師はそれが使われている部分に赤ペンで波線を引く…と、ねらいをもって評価するようにしています。また、複数の教師で同じ作文を読んで、自分ならどこに波線を引くか話し合ったりもしていますよ。

作文嫌いの子どもって多いでしょう？「書き方がわからない」なんて言う子がいるけど、説明文の授業で教わっているはずなんです。でも、子どもたちの頭に残っているのは、「ライオンの赤ちゃん

のは具体的にどのようなことでしょうか。

奥水 他教科のねらいを達成させるためには、やはり言語力が大事です。それには、国語科で身に付けた言葉の力を活用した言語活動を、各教科の指導の中に位置づけていくことが必要となってきます。

小学校の先生は全教科を教えるので、国語を教えているときに「この言語技能は、理科でも使えるな」と意識し、逆に理科を教えるときに「国語科で教えたことを子どもに思い出させながら言語活動を取り入れよう」と意識することが大切ですね。

— そういう教科間の関連性を、教師が意

が出てきた」とか、そういうことばかり。大事なのは、それを説明する「書きぶり」ですよ。内容理解も必要だけど、それだけにどまらず、「書きぶり」を教えていきたいですね。

— 最後に、現場の先生方へメッセージを。

奥水 学習指導要領の改訂は、自分の指導を見直す、とてもいい機会だと思います。「また変わるのか」と思わず、チャンスととらえていただきたいと思います。

今まで慣れ親しんできた教材も、新しい気持ちで向き合える、リフレッシュできる—そんなふうにも思っていたけると嬉しいな、私はそうしたいなと思います。

奥水かおり

港区立青南小学校校長。
23年間の教員生活の後、
1996年、港区教育委員会
指導主事。2001年、東京
都教育相談センター統括指
導主事。2004年東京都教
育庁指導部主任指導主事。
2006年より現職。

1

「繰り返し」が 習熟と定着の 近道

新

新しい学習指導要領では、日常生活で生きて働く言葉を身に付けることがコンセプトの一つとして掲げられている。使える言語として身に付けるには、とにかく繰り返し使うことが習熟と定着の近道であることはわかっているのだが、それを子どもたちにどう効果的に、主体的に、生き生きと学ばせるかで、指導者はあの手この手を考えるのだ。その点で、「大きなかぶ」の教材を劇化することは、非常に効果的であると思う。

このお話自体、場面ごとに登場人物が一人ずつ増えていき、同じパターンが繰り返される。「かぶが大きくなった」(原因)、だから「ぬけない」(結果)。「ぬけないから」(理由)、「手伝ってほしい」(思

の下、大人に指導されながらボールゲームなどの技術を身に付ける。
新しい学習指導要領では、想像を広げながら読む能力を身に付けるよう、新たに明記された。想像力の欠如からおこる昨今の痛ましい事件を見れば、国語科としていかに想像力を身に付けさせるかということは、大きな責任問題である。そこでもう一度、このごっこ遊びの力に目を向けたい。劇を作り上げる過程は、まさにこのごっこ遊びが原点となっている。ある役になる。子どもたちは実にスムーズに役になりきるのだが、それと同時に、物語の進行を客観的に見る目ももっている。役になりきってセリフを言っていたかと思うと、次の瞬間には、「じゃあ、ねこが、なかなか見つからなかったことにしよう」と意見を述べる。上手に想像することができない子には、教師が相手役になり、話しかけてセリフを引き出したり、同じ役になったつもりで、「おじいさんと呼ばれたよ。何て返事をしようか」などの助言をしたりして、物語の世界に入る足がかりを作っていく必要がある。また、劇化する際には、常に本文に立ち返るようアドバイスすると、いちいち子どもたちの考えたス

劇化で生きてきた言葉を身に付ける

「大きなかぶ」(一上) 新しい指導を考える会

2

劇化で 想像力を広げて 読む力を付ける

昔

は、毎日のようにさまざまなごっこ遊びをしたものだ。女の子同士ならおままごと、男の子と一緒に正義のヒーローもの。ごっこ遊びは、何もない状態からすべてを想像で作りに上げていく。場面設定、登場人物、人物描写、小道具や大道具の見立て。話は、話し合いながらころころ変わっていく。ところが、今の子どもたちがごっこ遊びをする姿をあまり見かけない。葉っぱや小枝を見立てなくても立派なキッチンセットが用意され、大人が決めたルール

始めは役を次々と交代し、色々なセリフを言うことが、定着の近道だろう。

い。この単純な繰り返しのおもしろさが子どもたちの心をとらえる。役になりきって何度もセリフを声に出すうちに、場面をつなげるためには、一つの役のセリフの中でどんな要素を話さなければならぬのか、自然と認識することができる。また、教科書を三十回音読しなさいと言われたらいやになってしまっただろうが、劇の練習ではそんなことはない。授業の始まりに教科書を読むことは、楽しい劇活動を始めるウォーミングアップであり、練習の途中でグループの友達と読む教科書は、話の流れを確認する(つまり、自分の意見が聞き入れられるかどうかの)真剣な振り返りである。

子どもたちに繰り返し、主体的に活動させるためには、もちろん台本など必要ない。登場人物の行動を追うには、教科書に立ち返るのが最良だ。あとはアドリブでセリフをつなげていく。そのほうが、その都度セリフを吟味するので頭を使う。また学習の始めにたっぷり時間をとり、

3

劇化を通して 話し合う力を 付ける

新

新しい学習指導要領の目標に、「話題に沿って話し合う能力」と明記された。ここで、私が以前に「大きなかぶ」で劇活動したときの子どもたちの様子を紹介したい。
話し合いには、初め、子どもたちの言語能力と日頃の力関係が見事に反映された。あるグループは、日常生活の中で子どもたちの中心となり、遊びをとりしきる子が、「きみは、まご役、ここで、『どうしたのおばあさん』と言いながら出てきて」など、劇の流れからセリフに至るまで、次々と指示を出す。言われた子は、納得しているのかいないのか、慥然とした表情で動き出す。なかなかセリフを言わないと、「まじめにやっ」となる。ま

た、あるグループは、みなやりたい役を譲らず、泣き出す子が出る始末。教師としては、ハラハラのスタートである。

しかし、ここでひとふんばり。「あなたは何でこの役をやりたいの」「二人が同じ役をやりたい。何かいい方法はあるかな」「あなたはこのセリフでいいと思う」など、根気よく話し合いのいろはを伝えていくと、子どもたちは少しずつ自分たちだけで話し合いを進める自信をもつようになり、活気が出てくる。ここま

でくると、子どもたち自身、話し合うという行為が楽しくなってくる。自分の意見が認められる嬉しさ、相手の意見に納得する連帯感、話し合いを成り立たせるには話題に沿って考える必要があるという気付き。納得して話し合うと、劇そのものが生き生きしてくる。
話し合う能力とは、一口に言語能力だけでは計れない。お互いの気持ちを推し測って発言の仕方を考慮したり、相手の意見をふまえて自分の意見を言ったりできなくてはならない。何度も話し合いの経験を積み、話し合ったことでよい結果が生まれたという満足感を多く体験することで、さらに話し合いへの意欲が高まり、力として定着していくだろう。

1

言語活動を通して、内容を確実に読み取る

新

新しい学習指導要領では、国語科のみならず各教科等においても言語活動の充実が謳われている。ここで気を付けるべきは、読み取りと活動とが分断されないようにすることである。

本教材で考えられる言語活動に、「リーフレット作り(※)がある。「言語活動を通す」ということは、「リーフレットを作りながら読み取っていく」ということである。初めに学級全体で読み取りをすべて行った後に、リーフレットを作るというのでは意味がない。子どもの側からすれば楽しくリーフレットを作っているのだが、実は、それが文章を読み取っていることになっている、そんな言語活動を目指したい。

「ありの行列」(三上) 新しい指導を考える会

に付けていくことにつながるのである。

2

語を語彙として意識させることで、語彙力を付ける

新

新しい学習指導要領では、すべての教科・領域等を通して、基礎的・基本的な知識・技能の習得が強調されている。国語科においては、その一つに「語彙力」が挙げられるだろう。

ここで「語彙」とは、何らかの観点によってグルーピングされた言葉の集合体であることを指す。単独の語を指しているのではないのである。本教材では、説明的文章を読むための語彙として、接続語を取り上げてみよう。

本教材は、短い文章の中に多くの接続語が登場する。それらを「接続語」とい

また、新しい言葉を獲得した際に、グルーピングの中に語を位置づけるような学び方は、語彙を質的にも量的にも豊かにしていくことが期待できる。

ぜひとも子どもたちに、語彙の意識をもたせていきたい。

3

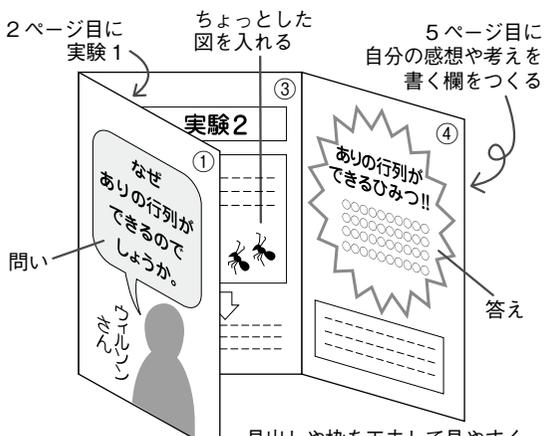
文章を読んでまとめたものを交流する場を設定する

新

新しい学習指導要領の特徴の一つに、学習過程として「交流」が位置づけられた点が挙げられる。互いの感じ方や考え方の違いに気付き、自分の考えを深めていくものである。

本教材では学習のまとめとして、各自の作ったリーフレットを互いに読み合う場を設定するとよいだろう。リーフレットの中には、文章を読むことでもった自分の感想や考えたことを、記述するスペースを設けておきたい。その際は、文章の内容を要約した部分と自分の考えとが混同しないように、きちんと書き分けることも指導する必要がある。文章を読んで自分

(※)リーフレットの例
八つ切り画用紙を三つ折りにして作る。



- ・見出しや枠を工夫して見やすく。
- ・文は短く。(要約意識)

特集

これからの指導 移行期に意識すること

●これからの指導

―移行期に意識すること―

1

ポイント 言語活動を充実させた 単元を構想する

新

新しい学習指導要領解説国語編の「国語科改訂の要点」には、「学習過程の明確化」と「言語活動の充実」が挙げられている。この考えを具現化する単元を提案したい。

本単元では、賢治の生き方や考えなど、作品の背景を考えながら読む面白さを体験させたいと考えた。そのため、一次で野口雨情の「しゃぼん玉」を読解させたい。この詞は、二歳で亡くなった娘の魂をしゃぼん玉にたとえている。「うまれてすぐに、こわれて消えた。」は、まさに娘をたとえていると考えられる。この学習をすることで、作品の背景を知って読むことの面白さを感じること

「よみづこで宮沢賢治の世界へ」 ―賢治の生き方を通して作品を読もう―

一次(導入)

単元で行う言語活動の決定

- ① 作品の背景を知ること、読みが深まったり広がったりすることを理解する活動
・「しゃぼん玉」(野口雨情作)の読解
- ② 賢治や賢治の作品に対する関心を高める活動
・賢治について知っていることや読んだ経験のある作品名を挙げる。
- ③ 学習課題と学習計画を立てる活動

二次(展開) 教材を使用した学習

- ① 「やまなし」の読解活動(ワークシート活用)
・ 本単元での読み方のモデルとなる。
・ 読解と並行して「イーハトーヴの夢」賢治の伝記や文庫、インターネットなどで背景や作品に関する情報も集める。(多読)
- ② 賢治の他の童話の読書活動
・ 「やまなし」と同様、情報収集をしながら読み進める。(多読)

三次(終末) 言語(表現)活動

- ① 作品に見える賢治の生き方や考え方を発表して交流する言語活動
・ 個々が発表する。
・ 発表の後、共感したことなどを交流する。

作品の背景を考えながら読む

「やまなし」(六下)

新しい指導を考える会

ができるであろう。また、この学習経験をもとに学習課題が生まれ、二次で「やまなし」を通して学習し、三次でまとまった言語活動として表現される。学習課題は左上の図のようにした。

2

ポイント 作品全体が 見渡せるシートを 活用して読解する

新

新しい学習指導要領「C読むこと」の指導事項エ「優れた叙述について自分の考えをまとめること」や、言語活動例イ「自分の課題を解決するため、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること」の具体化である。

短時間で「やまなし」を読み終えたい。「やまなし」の特色は、言葉遣いの面白さや描写の美しさ、五月と十二月の違い

すると全体像が見え、視覚的にとらえやすい。また、五月と十二月の描写を対比しやすい。
このときに、賢治の生き方や背景などを並行して調べることが、表現の持つ深い意味に気づくことがあるのである。

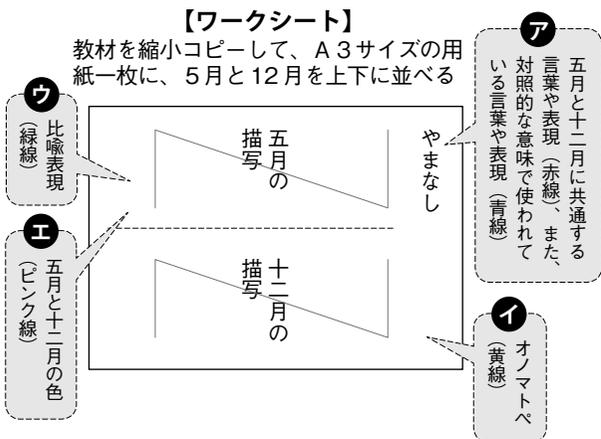
3

ポイント 本を選んで比べて 読む力を付ける ために多読する

新

新しい学習指導要領「C読むこと」の指導事項カ「目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと」を具体化するために、本単元では、二つの目的で多読する。一つ目は、賢治に関する文や文章、年表などを読むことである。二つ目は、賢治の他の作品(童話)を複数読むことである。

賢治の生き方や考え方を手がかりとして、教科書にある資料「イーハトーヴの夢」、「イーハトーヴロマン 宮沢賢治の世界」(くもん出版)をはじめ、伝



などである。そこで、右のようなワークシートを有効に活用し、作品全体を見通したり、五月と十二月を対比したりして読む。次の⑦から⑩のような観点を挙げ、各自がそれらに着目して、その意味や効果を考え、ワークシートに自分の考えなどを書き込むのである。このように

記などを活用することができる。その他、インターネットでも賢治のさまざまなことを調べることができる。必要に応じて、コピーをして全員に配布し、共通理解を図る。

賢治の他の作品については、全集や絵本がさまざまな出版社から出ているため、学年・学級で一括して借りて、自由に読めるようにしておきたい。自習時間、宿題などで一人一冊手にするよう、一学級の児童数分を確保できるのが理想である。このときの読みは、「やまなし」の学習を生かしての読みであり、複数の作品を次のようにして読む。

- ▼ 作品そのものの面白さを読む
 - ・ 表現の特徴(オノマトペ・比喩・対比など)
 - ・ 内容の面白さ(主人公の性格、ストーリー展開など)
 - ・ 「やまなし」に通じるところ
 - ▼ 賢治の生き方や考え方、時代背景を考えながら読む
 - ・ 賢治の人物像が表れている言葉・文・場面など
- 最後には、一つの作品を深く掘り下げたり、複数比べたりしてまとめる。この活動が三次の言語活動につながる。

三年上巻の「ありの行列」は、多くの先生方が授業で扱った経験をおもちだと思えます。アメリカの昆虫学者ウィルソンの実験・観察を題材にした説明文で、科学的な内容をわかりやすく説明していて、興味深く読めると評価していただいております。

最近、この「ありの行列」についてご質問をいただきました。「ウィルソンの実験と同じことを子どもたちにさせてみたが、アリの行列はできなかった。どうしてもできないのか。」というご質問です。質問を寄せていただいた先生のお話をうかがうと、「行列を作るアリと作らないアリがいるのではないかと、地域によって行列を作るアリがいない所もあるのではないかと、さまざまな疑問を持っていらつしやることになりました。そこで、京都工芸繊維大学教授で、アリの研究者の山岡亮平先生にお話をうかがうことにしました。



編集部 アリには種類によって行列を作るものと作らないものがあるのでしょうか。

山岡 ええ、そうです。「ありの行列」でウィルソンが実験に使ったのはヒアリだと思いますが、これは行列を作ります。しかし、ヒアリは日本にいません。日本に

いるアリでも、クロヤマアリのように行列を作らないアリもありますが、クロクサアリやアミアリなどは行列を作ります。**編集部** 実験をしたけれどアリの行列ができなかったという話があるのですが、地域によって行列を作るアリがいない所もあるのでしょうか。

山岡 いえ、そんなことはありません。沖縄から北海道まで全国でアリの行列は見られます。**編集部** それでは、子どもたちが実験したときにアリの行列ができなかったのはどうしてなのでしょう。**山岡** アリの行列の実験をするには、実はいろいろな工夫が必要なのです。たとえば教科書には「ありの巣から少しはなれた所に、ひとつまみのさとうをおきました。」とありますが、砂糖をそのまま置いて乾いているとアリは反応しません。砂糖が水分を含んで少し溶けているとアリが近づいてくる。地面に落ちていく餌が濡れているとアリがたかっているでしょう。あれと同じです。だから普通、実験では砂糖水を使います。それからもう一つ。土の上の実験は難しいのです。**編集部** どういうことですか。**山岡** わたしはよくアリが行列を作るのを子どもたちに見せるのですが、そのと

き道しるべフェロモンの抽出液を用意します。アリが行列を作るのは、道しるべとなるフェロモンの働きですからね。抽出液でフェロモンの道を作りますが、地面に引いてやってもすぐに土に吸収されてしまうのです。だから、実験では紙の上で行列を作らせます。ほかに、アリが逃げられないようにするとか、実験ではいろいろな準備をします。教科書に書いてある情報だけをもとに実験しても、うまくいかないこともあると思いますね。

編集部 正しく実験するためには、実際にはいろいろ工夫しなければならぬということですね。ところで、わたしは昔ほどアリの行列を見ないような気がして、ウィルソンの実験の頃とはアリの生きたが変わってしまったのかなとも思っています。

山岡 そんなことはないですよ。今でもアリの行列は日本全国で見られます。大人になると視線が高くなるので、地面の

ことが目に入りづらくなるのでしょうか。子どもの視線になれば、アリの行列は身近なものです。昔と変わリませんよ。**編集部** ウィルソンの研究はぜひぶん以前のもですが、その学問的価値は今も変わらないものなのでしょうか。

山岡 ウィルソンの研究は、アリがフェロモンなどの化学物質によって高度に発達したコミュニケーションをもつ社会を作っていることを解明しました。その学問的価値は普遍的なものです。わたし

みなさんは黒澤明監督の「八月の狂詩曲」という映画をご存知でしょうか。この映画に、アリが行列を作って地面を歩き、バラの木に登っていくシーンがあります。このシーンの撮影に協力したのが山岡先生です。そのときアリの腹部からの道しるべフェロモン分泌方法がこれまで考えられていたほど単純なものではないことに気づいたそうです。このインタビューでも触れられていますが、フェロモンはすぐ土に吸収されてしまうので、アリはそれを防止する物質とともにフェロモンを分泌すること。改めて生物の巧妙さに脱帽させられた、と山岡先生は言っています。



山岡亮平

(やまおかりょうへい)

京都工芸繊維大学教授。天然物有機化学を専攻し、昆虫の種認識機構や寄生捕食機構を化学的に解明する研究に取り組む。著書に「アリはなぜ一列に歩くか」(大修館書店)、「びっくり害虫図鑑 ファミリーサイエンス」(共著、三輪書店)などがある。

次の二つの「話し合い」を比べて、違いを考えましょう。
 —「カレーライス」(六上)を例として—

○よい「話し合い」に向かっている学習

ひろしが「夕食を作る」と言ったのは、どのような気持ちの変化からかについて、みんなで話し合ってみましょう。

ひろしは、あやまりたいという気持ちになっていたと思います。だから思わず答えてしまったのだと思います。

わたしも、ひろしはあやまるうという気持ちが大きくなってきていたから「何か作るよ」という言葉が出たんだと思います。ひろしはあやまる練習をしたと書いてあります。

ちょっといいですか。ひろしのあやまりたい、あやまるうという気持ちは本当に大きくなっていったのですか？

11ページにも仲直りしちゃおうかなって思っていたと書いてあるし、12ページにも今までならあっさりとおやまれたのに何でだろうとあって、さらに14ページに「行ってらっしゃい」と言わなかったって後悔しています。

たしかに、はずみで「作れるもん」って言ってるけど、あやまる気持ちが大きくなっていったと思いました。ぼくも、前に似たようなことがありました。

×よい「話し合い」だと思われがちな学習

ひろしが「夕食を作る」と言ったことについて、考えて話し合みましょう。

ぼくは、お父さんがかぜをひいてかわいそうでつい言ったと思います。Cさんはどうですか。

ぼくも、ひろしはつい言ったと思います。「思わず」って書いてあるからです。

わたしは、ひろしが自分も夕食くらい作れるぞって自慢したい気持ちがあったと思います。Dさんは？

わたしは、ひろしが思わず作れると言って、びっくりしてることがわかりました。

今日は、みんなが活発に意見が言えたり、相互指名もできてよかったです。ひろしの気持ちがよくなりましたね

それって「話し合い」？

Q

わたしのクラスの子どもたちは一人一人結構よく発言するのだけれど、ポコポコと打ち上げ花火みたいな発言で、お互いの絡み合わない。どうしたら「話し合い」ってうまくいけるのかな？

Q

毎々のクラスは、意見そのものを言ひ予が少なく、友達か「それでどう思うんですか。」で終わってしまうことが、とても気になってるんです。

A

指導案には必ず「場面場面」「登場人物の気持ちの変化について話し合う」とか「本時の学習課題について話し合う」と書かれてるのに、実際の授業では「あら、話し合ってるよ、どうだったのかしら」と思っただけの授業展開にしてはいい合います。

「話し合い」って何をするのか、何をするのか、「カレーライス」(六上)を例にして考えてみましょう。

元新宿区立西戸山小学校教諭
安田恭子

「話し合い活動」はこれでいいの？

よい「話し合い」活動に向けて気をつけたいこと

- 1 何について、どう話し合うかを明確に。**

前ページの右側と左側では、話し合いの課題が違っています。右側の課題では、何についてはわかりますが、どう話し合うかがわかりません。左側では、「どのような気持ちの変化からか」と、どのように話し合うかが示されています。話し合い活動では、できるだけ具体的な課題を心がけましょう。
- 2 意見の数にまどわされずに。**

わたしたちは、多くの児童が、次々と発言したり、「〇〇さんどうですか」という言葉を聞いたりすると、話し合いがうまく進んでいると錯覚しがちです。本当に友達の意見に耳を傾けているか、見極めましょう。
- 3 教師の出番を考えて。**

話し合い活動では、教師があまり口をはさんではいけないと思うあまり、必要な助言もしないことがあります。意見の根拠が足りないときは、それを指摘したり、方向がそれていくときは、軌道修正したり出番を考えましょう。
- 4 結論を確かめ、価値づけを忘れない。**

とにかく話し合い活動では、「よい話し合いができました。」という評価で済ませがちです。話し合っただんな結論になったのか、結論には至らなかったかどこまで話し合えたのかなど、しっかりとした価値づけが、次時をよりよい学習にするのです。



「話し合い」といっても、なかなか難しいものです。ただ単に報告したり、感想を伝えたり、説明したりとは違って、同じ場を共有する者が、同じ事柄について様々な考え方を関わり合わせながら意見を交換することを目的とするからです。

今の活動は、報告なのか、感想の紹介なのか、説明しているのか、しっかり見極めることこそ、よい話し合い活動への第一歩です。

「話し合い活動」とドッジボール

よしなが こうし
京都女子大学教授 吉永幸司

「話し合い活動」参加の見方

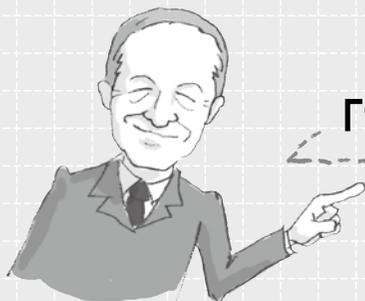


子どもが好きな遊びにドッジボールがある。ボールに群れ、当ったり逃げたりしている様子は、国語科の「話し合い活動」に似ている。「話し合い活動」と比べて考えてみたい。

「話し合い活動」は、話す・聞く活動をすることを前提である。

ドッジボールでは、受ける・投げる・逃げる活動がそれである。ボールを支配している子は、話し合いでいえば、話題について熱心に発言をしている子。ボールから逃げる子は、聞く活動をしている子と見ていくとわかりやすい。

「話し合い活動」で参加しているかどうかの見極め方だが、意見を言ったり反論している子は、内容はともかく参加していると見ていく。ドッジボールでも、ボールをキャッチするのが上手な子とそうでない子がいるのと同じである。聞いている子については参加していると見ていく。



「話し合い活動」の活性化を図る

ドッジボールでコートの中でボールの行方を追って逃げている子と同じである。話し合いに参加していない子は、コートの外でボールの行方に関心なく、見ている子と同じである。こう見ていくと、話し合いの参加と不参加が見極めやすい。

ドッジボールが楽しいのは、ボールに向かって意欲的に関わる子が多いときである。また、ルールを理解し勝負を意識するときである。

このことを話し合いで考えると、話し合いのルールや仕方を教えておくことは前提である。また、ボールを話題と置き換えてみる。そうすると、話題が話し合いという魅力があるかという面の検討が必要になってくる。話し合ったり、考えが広がった、深まったという実感があるかという視点で成果を確かめるのである。

また、ドッジボールでは、ボール

「話し合い活動」の落とし穴



を支配しているときだけでなく、集中してボールの行方を追う姿の実現が大事である。話し合いでは、意見を述べる、意見について考えるという姿勢をもたせることが活性化につながる。

ドッジボールで、教師が参加し、主役になって活動するときがある。力の強い子は喜ぶ。多くの子は最初は興味を持つが、そのうちに、外野で手遊びしたりする子が出てくる。教師はゲームに集中し、汗びっしょりになって動く。そのときは、子どもが見えなくなっていることに気がつかないことがある。話し合いでも、教師の一人芝居の授業をよく見かけ

る。

気がついたら、ドッジボールで、地面にお絵書きをしている子がいる。話し合いでもそのような落とし穴は多いので気をつけたい。

こう書いても大丈夫？ ～許容の形～

新しい指導を考える会

漢字のテストを実施し、いざ丸付けをしようとしたとき、「これは、正解(○)にしているのだろうか?」「土の横画の長さが反対になっているから間違いだな。」「画の接し方についてはこれでいいのだろうか?」など、正解か間違いか迷った経験があるのではないのでしょうか。実は、これは許容の書き方なのか、そうでないのかを判断する必要があったのです。ここでは、許容の形について考え、今後の漢字指導に役立ててほしいと思います。

1 「許容の書き方」の考え方

常用漢字表の(付)「字体についての解説」の中の「第二 明朝体活字と筆写の楷書との関係について」では次のように述べられています。「個々の漢字の字体(文字の骨組み)を、明朝体活字のうちの一つを例に用いて示した。このこと

は、これによって筆写の楷書における書き方の習慣を改めようとするものではない。字体としては同じであっても、明朝体活字(写真植字を含む)の形と筆写の楷書の形との間には、いろいろな点で違いがある。それらは、印刷上と手書き上のそれぞれの習慣の相違に基づく表現の差と見るべきものである。以下、分類して例を示す。…これは、私たちが

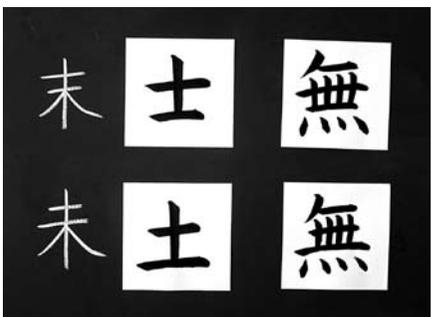
2 「許容の書き方」の実際

それでは、実際に指導するにあたってどんな点をポイントに、指導すればよいのかを考えていきます。

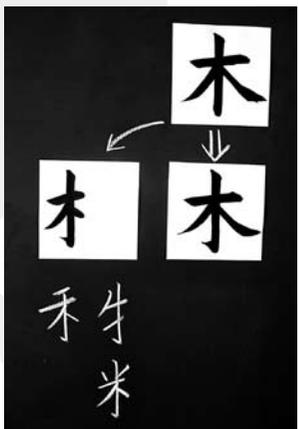
画の長短に関する例

横画の長短によつては、違う漢字になつてしまうものもあります。「土・土」、「末・末」など(しかし、横画の長短を変えても許容の文字があります。例えば、「無」は三画目と八画目の長短が変わっても許容の形です。(図1))

このように、横画の長短によつて、許容であるかないかを判断する必要があります。「天」も上下の横画の長短が変わっても、許容の形です。「蚕」も同様に考えてよい文字です。



(図1)



(図2)

漢字の指導をする際、特に、許容の書き方を考えるときに重要なことと考えます。

また、^{*}小学校学習指導要領解説国語編では、漢字の指導の取り扱いについて、「(ウ)漢字の指導においては、学年別漢字配当表に示す漢字の字体を標準とすること。」「(中略)」「(ウ)は、漢字の標準的な字体の拠り所を示している。漢字の指導の際には、学習指導要領の『学年別漢字配当表』に示された漢字の字体を標準として指導することを示している。しかし、この『標準』とは、字体に対する一つの手掛かりを示すものであり、これ以外を誤りとするものではない。児童の書く文字を評価する場合には、『常用漢字表』(昭和五十六年内閣告示)の『前書き』にある活字のデザイン上の差異、活字と筆写の楷書との関係なども考慮することが望ましい。」と解説しており、どこまで許容されるのかの根拠となります。

このことを踏まえ、常用漢字表の「筆写の楷書では、いろいろな書き方があるもの」に分類されている観点を含め、実際の許容の書き方について考えていきたいと思います。

終筆に関する例

① 途中にある縦画の終筆をはねてもよい例

終筆は、「止め・はね・払い」のいずれかです。ここでは、終筆の例についてみてみましょう。

例えば、「木」の二画目の縦画ははねてもよいということです。応用すれば、「木(きへん)」の縦画もはねてもよいこととなります。その他、「キ(うしへん)」「禾(のぎへん)」「米(こめへん)」の縦画もはねてもかまいません。(図2)

▼「木(きへん)」「キ(うしへん)」「禾(のぎへん)」「米(こめへん)」のある文字

一年	校・村・林
二年	科・秋
三年	横・橋・根・植・相・柱・板・様・物・秒
四年	械・機・極・材・札・松・梅・標・特・牧・種・利・粉・料
五年	桜・格・検・構・枝・移・税・程・精
六年	株・机・権・樹・棒・枚・模・私・秘・糖

② 最終画の縦画を払ってもよい例
学習指導要領の「学年別漢字配当表」では、最終画の縦画は、止めているのか払っているのか明確ではありません。この最終画の縦画を払うことも許容の書き方と考えてよいでしょう。

▼最終画が縦画の文字

一年	耳・車・十・千・川・早・草・中・年
二年	科・帰・牛・計・午・算・市・姉・新・南・半・用
三年	界・岸・研・庫・幸・州・所・章・申・神・都・鼻・筆・部・平・命・羊・洋
四年	印・希・訓・軍・郡・耕・師・折・節・卒・帯・単・仲・料
五年	準・解・幹・許・群・件・耕・師・準・常・断・布・婦・弁・綿
六年	革・干・揮・郷・降・濟・障・針・扨・肺・棒・幕・郵・卵・律

画の方向が変わる例

左払いが横画に変化する許容の例もあります。「匕」のある文字がそれに当たります。また「系」のある文字も同様です。その他「風・考・橋」なども、左払いが横画に変化してもよい許容の形と考えてよいでしょう。さらに「匕」のある文字は、終筆のはねを止めても許容の形です。(図5)

(図5)



▼「匕」・「系」のある文字

一年	花
二年	北
三年	化・階・死・指・係
四年	貸・老・孫
五年	混・態・能・比
六年	疑・批・陞・系

③ 払いを止めてもよい例

(1) 右払いの例
「又・欠・夂・夊」などの右払いは止めても許容の形と考えられます。(図3)

▼「又」・「欠」・「夂」・「夊」のある文字

二年	歌・教・数・夏・後・麦
三年	軽・取・受・度・投・波・反・坂・板・皮・服・返・役・飲・次・整・放
四年	径・最・殺・努・欠・改・救・散・敗・牧・愛・変
五年	仮・経・護・支・枝・授・設・破・版・報・資・故・修・政・敵・務・酸・復・復
六年	穀・収・段・暖・欲・敬・警・激・巖・枚・腹・優

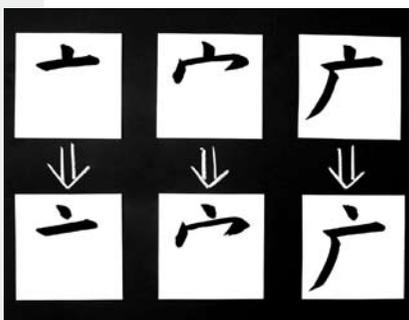
また、「様・緑・球・求・録・康」などの最終画の右払いも止めてよい例です。さらに、「良」の右払いの終筆も同様で、「食・銀・根・養・限・良」などがその例です。(図4)

点画の接し方に関する例

① 点と横画の接し方の例

「𠃉(まだれ)」「𠃊(やまいだれ)」「𠃋(うかんむり)」「𠃌(なべぶた)」の一画目は下の横画から離してもよく、画の方向が変わっても許容の形です。(図6)

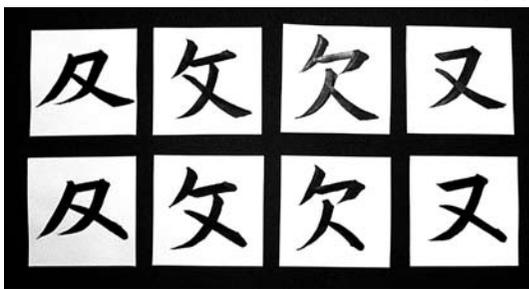
(図6)



▼「𠃉」のある文字

二年	広・店
三年	庫・庭・度
四年	康・席・底・府
五年	応・鉦・序
六年	拡・座・庁・糖

(図3)



(図4)



(2) 左払いの例
左払いを止めてもよい例もあります。「非・悲・俳」などがそれに当たります。

▼「𠃉」のある文字

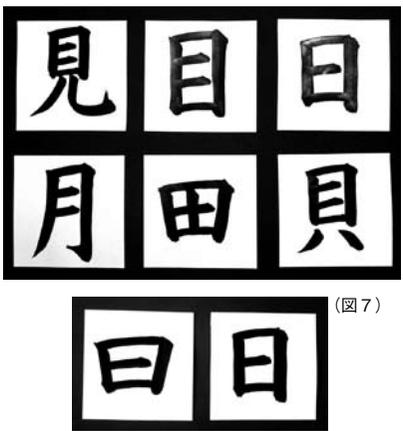
一年	空・字
二年	家・室
三年	安・院・寒・館・客・究・宮・実・守・宿・定
四年	案・害・完・官・管・察・貯
五年	演・額・寄・富・容
六年	宙・宝・密

▼「𠃉」のある文字

一年	音・校・文・立・六
二年	顔・京・交・高・市・姉・新・親・方・夜
三年	暗・意・育・商・章・族・対・童・倍・部・放・遊・流・旅
四年	航・産・辞・卒・停・变・望・衣・位・億・旗・泣・鏡・競
五年	液・境・効・接・率・適・敵・統・防
六年	肺・訪・濟・裁・就・熟・障・装・刻・訪・亡・忘・裏

② 横画の終筆と縦画の接し方の例

「日・目・見・貝・田・月」など、中にある横画の終筆は、右側の縦画から離して止めても許容の形です。(図7)



(図7)

筆順が変わる例

「糸(いとへん)」のある文字は四、五、六画目の部分の形が変わり、筆順が変わっても許容の形です。また、四画目ははね、五画目を止めてもかまいません。(図8)



(図8)

▼「糸(いとへん)」のある文字

二年	三年	四年	五年	六年
絵・細・紙・練・組	級・終・緑・練	紀・給・結・続・約	経・織・績・絶・総・統・編・綿	絹・紅・縦・縮・純・納

曲がりを折れ払いにしたり、はねを払ったりする例

曲がりを折れ払いにしたり、はねを払ったりしても許容場合があります。「切・改・望」がそれに当たります。(図9)



(図9)

3 おわりに

今回は許容の形について取り上げました。許容とは「こう書いてもよい」ということであり、「こう書かなければならない」というものではありません。速く書くための一つの工夫として、また、字形を整えるため、そして、行書への移行も考えて許容の書き方があると考えてよいでしょう。漢字指導をするときには、この点を念頭に置いて指導することが大切です。

【参考文献】

- ・『書写三・四・五・六年』（光村図書）
- ・水田光風編著『字形と筆順』（光村図書）
- ・白木龍竹著『漢字書き取り字典 標準字体と許容のめやす』（日本習字普及協会）

【補注】

※文部科学省『小学校学習指導要領解説国語編』一〇六・一〇七ページ

ぼくは探検家だ。きょうはヘッコロ島という無人島へ行く。そこにはホッコロ沼という場所がある。五、六人ばかりヌシを釣り上げた。出かけたやつもおったがハア、みんな手ぶらで帰ってきた。動物も少しいるが、クマや毒虫やへびはおらんからハア、心配せんでええ。もしヌシを仕留めたら、礼はいらねえけど、一回だけ見せに来てくれ。あの世のみやげに楽しみにしてっからよ」

「あの島はハア、先祖代々うちのものじゃが、ずっとほったらかしである。五、六人ばかりヌシを釣り上げた。出かけたやつもおったがハア、みんな手ぶらで帰ってきた。動物も少しいるが、クマや毒虫やへびはおらんからハア、心配せんでええ。もしヌシを仕留めたら、礼はいらねえけど、一回だけ見せに来てくれ。あの世のみやげに楽しみにしてっからよ」

「あ、茶碗をふせたようなかたちの島だ。島にはもの三十分ほど到着した。濃い緑におおわれた、せまい入江をみつめて、その浜にボートをつなぐ。森の入口の小高いところに、手とり早くテントを張った。二、三日はここで野営するつもりだ。それだけあれば、腕のいいぼくにはじゅうぶんだらう。まだお昼まえだ。ぼくの経験ではうまくいく時はたいてい

お は な し 定 期 便

へッコロ島奇譚

舟崎克彦 (文・絵)

「おはなし定期便」は、子どもたちへの「読み聞かせ」や「朝の読書」の時間などにご活用ください。

ぼくは盛大にコマセをまくと、池の中央めがけて糸を投げた。ポチヨン……とぼけた音を立てて、エサがしずんで行く。あぶくが二つ三つ上がったきり、水辺はしずまりかえった。無人島での釣り。なんてのびのびした気分なんだろう。ぼくはなんとも深呼吸した。と、しばらくしてぼくは、周囲のしげみの中から、何者かがこちらのようすをうかがっている気配を感じた。「人か……?」

いや、人がすがたをかくせるほど、大きなやぶはない。ちよっといこちが悪くなって、セキばらいをしてみる。すると、まわりのしげみの中からも、セキばらいがかえってきた。

「あーあ」

つぎにあくびをしてみると、まわりからもあくびの音が
おこった。

「だれだ!?」

と、声をかけると、「だれだ!?」と聞きかえしてきた。
その時、竿にあたりがきた。浮子がぐくぐくと水の中に
引きこまれる。

「来たぞ!!」

もう、まわりの連中が何者なのか、なんて気にしている
ところではない。ぼくは池にむき直って、竿をわきにたく
しこんだ。

ものすごい引きだ。

水底に一気にもぐったかと思うと、ぐるぐると泳ぎまわ
る。うっかりすると水辺に足をとられてしまう。歯をくい
しばって、岩場に足をふんばった。

腰を浮かすと水中に引きずりこまれそうだった。まさしく沼
のヌシにちがいない。一体なんていう魚なんだ。それとも
伝説のカッパか。

「おっとっと……」

つんのめって水に落ちそうになる。

その時、うしろからぼくの腰を支えてくれる者があつた。
横目で見ると一匹のタヌキだ。びっくりしているひまも
ない。

「あ、ありがとう……」

やっこのこととひと言いうと、また竿が深みに引きこまれ
た。

「おい、みんな!!」

ぼくの腰にツメを立てていたタヌキが声を上げた。

すると、まわりのしげみをガサゴソさわがせて、鳥の動
物たちがとび出してきたんだ。

アナグマがタヌキにしがみつくと、アナグマをだきとめる
のはイノシシだ。イノシシにだきついているのはキツネ
だった。

カワウソが水中にとびこんで、ようすをさぐりに行く。

しばらくして水から顔を出すと、

「しっかりくらいいついてるぞ。みんながんばれ!!」

と、水かきのついた手をまわした。

「よしきた、がんばれ」

「おいっち、にっ、おいっち、に!!」

動物たちのかけ声にあわせて、釣り竿を引く。やがて竿
が三日月みたいにになると、えものが上がってくる手こた
えになった。どうとう力がつきたのか。

「それ、もう少しだ!!」

今度はぼくがかけ声をかける。と、しずんだ糸のさきか
ら、黒く大きなものの影が少しずつ浮き上がってくる。

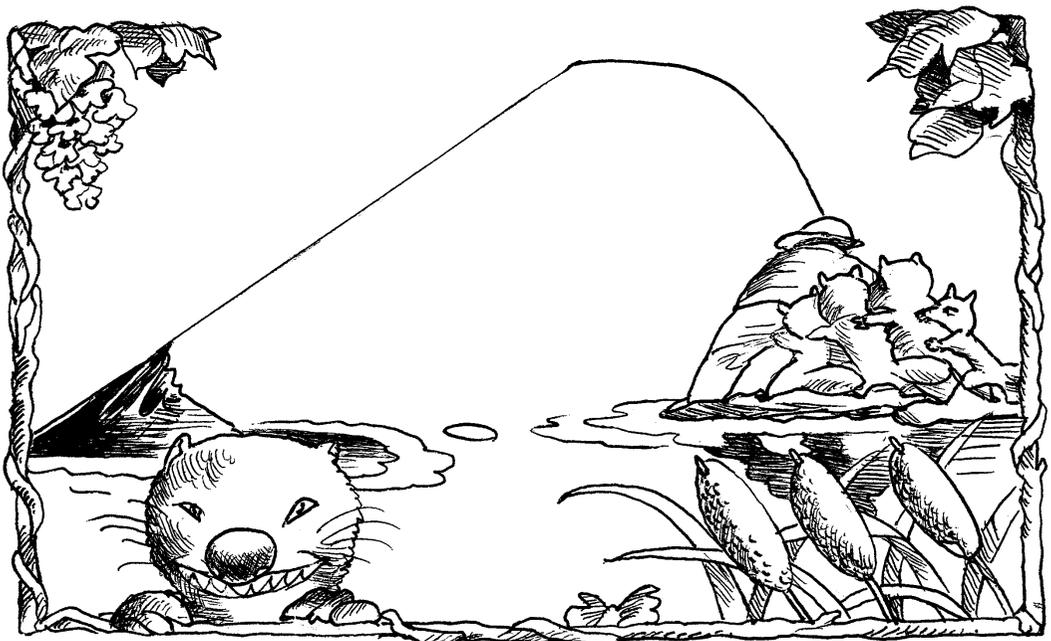
それはみるみる水面いっぱいに広がってくると、やがて
糸のかかった先つちよを水の上に出した。

針はヌシの口にかかったのじゃなかった。体の一部を
ひっかけたらしい。ぬれて光る、ずんぐりしたかたまりだ。
しかもとてつもなくでかい。

「それ引け」

「もうひといき!!」

号令をかけたつづけて引っぱると、そいつの影が水面いっ
ぱいに広がってきた。



「沼よりでかかったりして……そんなバカな」

あつけにとられながら、なおも引きよせると、こんどは
まわりの木立ちがザワザワゆれはじめ、つぎにはバタバタ
とたおれ出した。

まるで地の底から根こそぎ引っぱられているようなお
れ方だった。その時、ぼくははじめて気づいたんだ。

「ぼくが今ひっかけているのは、沼のヌシじゃなくて、
沼の底なんじゃないか?」

そのしるしに釣り竿をほうり出すと、黒いかげはゆっく
りと沼の奥にしずんで行き、入れかわりに木々が体を立て
はじめた。

ふと見ると、さっきの動物たちはかげもかたちもなく
なっている。

「ヒヤーン」

ぼくは背筋が寒くなるとその場からにげ出した。

やっぱリテントに泊まる必要はなかった。

帰りのボートから島かけをながめながら、ぼくは自問自
答していた。「釣り糸を引っぱりまわしていたんだから、
生き物がかかっていたのにちがいないんだけどなあ……」

じいさんにあいさつに行くと、

「そうかハア、やっぱダメじゃったかね、フェツフェツ
フェツ……」

カワウソみたいな顔で笑った。

舟崎 克彦 (ふなぎき よしひこ)

童話作家。1945年東京都生まれ。『ぼっぺん先生と帰
らずの沼』(筑摩書房、岩波書店)で第4回赤い鳥文
学賞、『雨の動物園』(偕成社)で国際アンデルセン賞
優良作品賞受賞、『ぼっぺん先生』物語シリーズ(筑摩
書房)で第11回路傍の石文学賞を受賞。『悪魔のりんご』
(小学館)で第13回日本絵本大賞受賞。現在、白百合
女子大学教授。



わくわく古典教室

新学習指導要領対応

今日から始める
古典の授業

平成21年4月発売

特長1 画面を見ながらの音読

特長2 暗唱するための工夫がいっぱい

特長3 昔話や神話・伝承の読み聞かせ

特長4 豊富な資料映像

特長5 プリント教材の作成

特長6 全学年で活用可能

【価格】学校フリーライセンス 小学校版 低学年用(読み聞かせ・言葉遊び編) 中学年用(短歌・俳句、故事成語編) 高学年用(古文・漢文編)

各26,250円(本体価格各25,000円) For Windows®

※学校フリーライセンスは、校内でご利用になるパソコンの台数を制限しない契約です。※価格には、サーバやパソコンへのインストール費用は含まれておりません。

光村図書出版株式会社

〒141-8675 東京都品川区上大崎 2-19-9

E-mail: digital-info@mitsumura-tosho.co.jp

▼「わくわく古典教室」について、詳しくはこちらまで

www.mitsumura-tosho.co.jp/digital/

TEL: 03-3493-5741 (お客様窓口)

教科書編集部便り

移行措置期間の国語科

いよいよ4月、新年度から新学習指導要領実施を控えての移行措置期間が始まりました。弊社からは、すでに昨年秋「移行措置資料」をお届けしていますが、ここで改めて「国語科」の移行措置について、簡単に触れておきます。

理科・算数は、文部科学省が予算措置をして、全児童に移行資料が配布されます。これは、現在ご使用の各教科書会社が作成し、検定に準ずる審査を受けたものです。

その他の教科は、各学校判断で移行に向けた授業をしてもよいということになっています。つまり、国語科では、従来の授業を続けていても、新学習指導要領に移行したとき支障はないということです。この際の学校判断とは、新学習指導要領の内容や考え方を先取りするかどうかということになります。

新学習指導要領「国語科」の内容や考え方にに関するキーワードはいくつか挙げられ

ますが、代表的なものは、活用、思考力・判断力、言語活動、伝統的な言語文化、また、繰り返しの基礎・基本の定着などでしょう。活用とは、全国学力調査にみられるように、日常生活において言語力が発揮できることですから、新聞・ちらしなどの読みや、グラフや図など非連続テキストの読み、レポートや手紙を書くことなどが含まれます。これらのうち、いくつかは既に現在の教科書にも材料があります。したがって、それらを用いて、思考力・判断力、活用力を培うことを強く意識した授業をしていただければ、新学習指導要領に向けての第一歩となるでしょう。

弊社「移行措置資料」は、そのような考え方で作成してあります。現在の教科書を使いながら、足りない資料を補いつつ、新しい方向の授業に役立てていただければと願うものです。

お知らせ

移行期間関連資料について

弊社ホームページに、移行期間関連資料が掲載されていますので、ぜひご活用ください。光村チャンネル >> 「移行期間関連資料」よりご覧ください。

<http://www.mitsumura-tosho.co.jp/Data/ikou/>

移行期の年間計画 (1～6年)	現行教科書の単元・教材について、時数や扱い方が変わるところをわかりやすく示した年間計画です。
移行措置資料付「学習材料」 (1～6年)	現行教科書の単元・教材の扱いに、新しい学習活動・指導内容を組み込んで、指導の展開例などを示しました。
移行期の指導に向けて(学年共通)	新学習指導要領の特徴や、移行措置の要点をまとめた資料です。
学習指導要領新旧対照表 (低・中・高学年)	新旧の学習指導要領を並べて表示し、変更された部分や、新規で加わった点をわかりやすく示しました。
移行期の指導のために (学年共通)	「古典を楽しむ」「知って安心『PISA型読解力』」…など、新学習指導要領の特徴的な部分をピックアップし、図やイラストを交えて解説しました。